

オンライン時代の

吃音支援

— オンライン吃音支援の実際と可能性 —

2026

8.23 (日) 10:00-12:00

対象： 言語聴覚士、臨床心理士／公認心理師、教員等の支援者 等

新型コロナウイルス感染症の流行を契機として、医療・教育・福祉のさまざまな場面でオンラインによる支援が広がりました。吃音支援においても、オンラインを活用した相談や訓練が行われるようになり、地域や移動の制約を超えて専門的な支援を受けられる機会が増えています。本講演では、まず幼児吃音に対する代表的な介入法であるリッカムプログラムについて、その概要や基本的な考え方を紹介します。そのうえで、オンラインでのリッカムプログラム実践を中心に、オンライン支援でできること、難しいこと、対面支援との違いについて、実際の臨床経験や研究結果を交えながら紹介します。また、オンライン支援が吃音のある人やその家族にもたらす可能性について考えるとともに、オンライン時代の今後の吃音支援のあり方について参加者の皆様と一緒に考える機会にしたいと思います。



講師 **坂崎 弘幸** 先生

言語聴覚士。耳鼻咽喉科・小児科クリニックでの勤務のほか、特別支援学校教員、外部専門家などを経験。目白大学専任講師を経て、現在は神田耳鼻咽喉科医院言語聴覚部門コーディネーター、昭和医科大学兼任講師などを務める。幼児吃音を主な専門領域とし、臨床・教育・研究に取り組んでいる。オンラインST研究会世話人。日本吃音・流暢性障害学会会員。

タイムスケジュール

9:45 入室開始
10:00 講演
11:30 質疑応答
12:00 閉会

申し込み方法

以下のQRコードまたはURLのGoogleフォームよりお申し込みください。



URL:
<https://forms.gle/M7vWy1Py87JfeUis6>

受講料金

- 一般： 6,000円
- 令和7年度以降の会員： 4,000円
- 令和7年度以降の会員： 4,000円
*今回の申し込みと同時に、賛助会員に登録される方 +年会費
- 令和6年度以前からの会員： 無料

・「会員」とは、全国言友会連絡協議会の加盟団体の会員及び、賛助会員を指します。

・本企画へのお申し込みと同時に、令和7年度（2025年9月～2026年8月）の賛助会員としてご登録いただくことが可能です（別途、年会費1,500円がかかります）。

・「令和6年度以前からの会員」とは、令和6年および、令和7年に会員として登録されている方を指します。詳細は、申し込みフォームをご確認ください。



主催/お問い合わせ

特定非営利活動法人 全国言友会連絡協議会
青木 待心



<https://www.zengenren.org/>
info@zengenren.org